

北海道ぎょれん広報

なみまるくん



4

2016
No.330

[うみ・なかま コミュニケーション]

北海道
ぎょれん



特集

平成28年度 ぎょれん事業計画 ー 前編 ー

平成27年度 全道漁協トップセミナーが開催されました

特集
SPECIAL

平成28年度ぎょれん事業計画 ー前編ー



平成28年度が始まりました。今月と来月の2号にわたり、ぎょれんの平成28年度事業計画をご紹介します。

今月は、西副会長に、計画策定にあたっての考え方を伺うとともに、漁政対策、指導・教育事業、環境保全対策、販売事業(全体方針および鮮魚流通対策)の計画についてお伝えします。

来月は引き続き、販売事業のうち、秋鮭・ほたて・昆布に関する事業と、購買事業、宣伝・広報事業等の計画をご紹介します。



ぎょれん 西副会長

る分野での衛生・品質管理に万全を期すこととします。

購買事業については、基幹となる燃油価格は落ち着きをみせていますが、世界の原油情勢は常に不安材料が内在していることから、今後の原油価格上昇、需給逼迫等の情勢変化に対応し得るよう、全漁連を中心とした系統燃油集中取扱体制を引き続き堅持してまいります。

加えて、浜のニーズに即した系統ブランド資材の普及拡大を通じ、営漁コストの削減に取り組みなど、会員とともに系統購買事業機能の拡充強化に取り組んでいきます。

指導部門のうち漁政対策については、TPP大筋合意を受け国内対策として実現をみた国の水産業競争力強化緊急事業等を有効活用し、なかでも画期的な担い手対策としての漁船リース事業を核として「強い北海道漁業の確立」に向けた基盤整備、体制強化に総力を挙げて取り組みます。

併せて漁協経営基盤の強化に向けた指導教育機能の充実を図ります。

以上の通り本道漁業を取り巻く環境は、生産から加工・流通・消費に至る様々な分野で諸課題を抱えておりますが、本会は指導・経済連合会として、浜からの付託に応え、将来ともに魅力のある北海道漁業としていくため、

「中期的事業推進方向」
最終年度を迎え、組織を挙げて
さらなる事業展開に取り組む

本会は「強い北海道漁業の確立」に向けて、三つの重点スローガン（グローバル戦略の進化と成長」「選択と集中による事業展開」「コンプライアンス経営」）を掲げ、3力年の「中期的事業推進方向」に基づき事業を推進してきています。

平成28年度はその最終年度にあたり、この間の実績を踏まえ引き続き組織を挙げた各種事業展開を行ってまいります。

喫緊の課題は安定した生産量確保に向けた資源増大・管理の更なる強化。消費の二極化は依然として進行

昨年の本道漁業は、金額については、浜値の上昇により前年に続き3,000億円台を確保することができましたが、生産量は多くの魚種で前年を下回り、過去にない100万トンに留まるなど生産面で大きな課題を残した年となりました。

全道的な原料事情の急激な悪化により加工業界は稼働面で苦戦を強いられており、加えて本年からのロシア海域サケマス流網漁業の全面禁漁による影響を含め、今後の漁模様如何によっては、地域経済等へ与える影響が憂慮されています。

浜との連携を強化し、組織を挙げて各種事業に取り組んでいきます。



鮮魚対策事業の行われる鮮魚センター

指導事業について

1. 漁政対策

本道漁業は海洋環境の変化によって水産資源の多くが減少の一途を辿っているほか、漁村経済の中核となる担い手の減少など、諸課題が山積しています。

特に、水産資源の回復は喫緊の課題であり、資源増大対策の推進および本道漁業の実態に即した資源管理体制の確立が急務です。

一方、昨年のTPP大筋合意を受けて、国はTPP関連政策大綱に「持続可能な収益性の高い操業体制への転換」を掲げ、水産業競

争力強化に向けた施策を打ち出しています。
本年度の漁政対策の推進にあたっては、こうした情勢を踏まえて、外部環境に左右されない本道漁業経営の体質強化に向けて、組織をあげた取り組みを行うものとしています。

(1) 水産資源の増大と本道漁業の実態に即した資源管理体制の確立に向けた取り組み

- ① 海洋環境変化に対応した栽培漁業の推進（増養殖施設の整備、種苗生産の拡充、技術開発の促進等）に向けた取り組み
- ② TAC制度をはじめとする現行の資源管理制度に対する本道漁業の実態に即した資源管理体制の実現に向けた取り組み（クロマグロ、マダラ等）
- ③ 沿岸・沖底との全道・地域毎の各種漁業者実践協議会の開催等、資源に見合った操業体制確立に向けた協議促進
- ④ 組織的密漁の防止に向けた取り組み強化

(2) 漁業経営体質強化に向けた取り組み

- ① 広域浜の活力再生プランの策定推進等、各種関連事業の活用促進に向けた取り組み
- ② 浜の担い手漁船リース緊急事業および機器・生産設備導入事業等に係る本道漁業の活用促進に向けた取り組み（予算拡充・導入要件見直し等）
- ③ 漁業収入安定対策および漁業コスト低減対策の拡充強化に向けた取り組み

強い組織づくりを目指すとともに、人材育成と啓発活動を継続・強化します。

これに加えて、漁協組織運営の前提となる経営適正化・健全化に向けた取り組みを進めていきます。

(1) 漁協経営改善指導の推進

- ① 経営健全化が喫緊の課題となっている漁協に対する漁協経営強化推進本部を通じた重点的指導・支援の継続実施
- ② 漁協における内部監査実施に向けた取り組み支援

(2) 漁協の運営適正化に向けた指導監査の充実と重点的指導

- ① JF全国監査機構による指導監査並びに改善指導の継続実施
- ② 内部けん制機能強化に向けた重点的指導の継続実施

(3) 教育研修活動の充実

- ① 全道漁協教育研修計画（平成28年度～30年度）に基づく役員研修の充実
- ② 漁協内部監査担当職員の育成に向けた研修強化

(4) 人材育成対策

- ① 漁協青年部活動の強化支援と組織育成
- ② 全道協力組織（漁業士会、職員協議会等）の事業活動を通じたリーダー育成

- ④ 資源回復を目指す漁業者への経営支援制度およびトド漁業被害の救済に向けた経営支援制度構築への取り組み
- ⑤ 環境変動に対応した有害生物（トド・アラシ・オットセイ等海獣、クラゲ類、ザラボヤ）の漁業被害対策事業の拡充強化およびヒトデ漁業被害対策の創設への取り組み

(3) TPP大筋合意に伴う影響回避と水産物貿易自由化問題への組織的取り組み

- ① 全漁連・水質協等との連携による関税削減、即時・段階的撤廃に伴う影響に対する中長期の支援対策の実現に向けた取り組み
- ② 今後のTPP加盟国拡大、EPA等貿易自由化促進の動きからの本道漁業への影響回避に向けた組織的対応



全道漁協指導部門担当者会議

- ③ 漁協における協同組合運動啓発活動促進のための支援（啓発資料の提供、講師斡旋等）

(5) 指導教育部門の機能強化

- ① 相談機能充実のための地区別指導体制の継続
- ② 指導部門情報・ホームページの充実



青年部による小学校での出前授業

3. 漁業環境保全対策

海獣等の有害生物による漁業被害軽減に向けた取り組みを強化するほか、本道周辺海域における漁場環境や河川環境の更なる向上を目的とした総合的な環境保全対策を実施します。

また、流木等の漂着物処理対策について、各種事業の効果的な活用を進め、併せて漂着物発生抑制対策の実現に向けた取り組みを行います。

さらに、洋上風力発電など各種エネルギー

(4) 漁村の活性化、多面的機能発揮対策への取り組み

- ① 多面的機能発揮対策事業のさらなる事業活性化に向けた取り組み（活動組織の新設および活動項目の適用範囲拡大等）
- ② 自主的な地域活動に対する「漁村集落直接支払交付金制度」の創設に向けた取り組み

(5) 原発災害問題への浜と連携した組織的取り組み

- ① 汚染水問題を含めた適切な福島原発管理体制実現に向けた運動展開
- ② 韓国輸入規制措置の打開など、風評被害の早期払拭を図るための取り組み

(6) 水産物流通・加工・消費対策の強化に向けた取り組み

- ① 北海道の実態を踏まえた産地流通・加工対策支援制度の拡充に向けた取り組み
- ② HACCP環境整備および高度衛生管理型施設の整備等、水産物の輸出促進に向けた支援制度の拡充への取り組み

2. 指導・教育事業

漁業・漁協経営を巡る環境は非常に厳しい状況にあることから、従来にも増して、漁協を核とし、協同組合精神に根差した結束力の

開発に対する漁場環境影響について、的確な対応および情報提供を行なっていきます。

(1) 有害生物漁業被害防止総合対策事業の推進

- ① 国の補助事業などの有効活用による漁業被害防止対策の充実強化
ア. トド駆除や追払い、強化刺し網等の導入による被害対策の拡充に向けた取り組み強化
イ. ザラボヤ・キタミズクラゲの駆除及び処理対策事業の推進
ウ. ゴマフアザラシ・ゼニガタアザラシによる漁業被害軽減に向け、各管理計画に基づいた対策の実施
エ. オットセイ漁業被害対策の確立に向けた取り組みの推進
- ② 漁業者ハンター養成による駆除対策の推進



岩場に生息するトド

〔2〕河川・漁場環境保全対策の継続強化 〔工事濁水・事業場排水関連〕

① 地区協議会等における漁場環境および河川環境の改善に向け、新たな開発工事も含めた総合的な協議の実施

② 地区パトロールにおける河川・農業関連工事や事業場及び鉄道や高規格道路などのインフラ工事の現場調査実施等による泥土砂・濁水流出防止と湧水発生対策の強化

〔農業系排水関連〕

① 行政ならびに農業関係団体との対策協議による家畜排せつ物対策の強化

② 農業関係団体との環境保全に向けた取り組み推進

〔廃棄物関連〕

① 海岸漂着物処理事業の活用による流木・漂着物対策支援の推進および流木発生の抑制対策実施に向けた取り組み推進

② 漁業系廃棄物・残渣の適正処理対策への支援と廃棄物の有効利用に向けた研究開発に関する取り組み対応

〔海洋環境関連〕

① サハリンでの原油開発における油流出事故未然防止対策の推進

② 道内周辺を往来するタンカー等の航行における安全確保の要請

③ 海域および河川における油流出事故の対応方法や防除体制の整備強化

④ 洋上風力発電など各種エネルギー開発に

〔3〕漁協・加工業者との連携による集荷体制の強化

〔消費地対策〕

〔1〕道ぎょれん会を核とした全国的な販売ネットワーク網の拡充及び「選択と集中」による組織的な取り組みの更なる強化

〔2〕需要確保に向けた各種流通対策・消費宣伝事業と連動した提案型営業の継続強化

〔海外輸出対策〕

〔1〕海外取引先との更なる組織的取り組みの強化

〔2〕加工向け原魚と活・生鮮及び高次加工品の輸出対策の強化

① 基幹魚種の需給調整機能としての新たな輸出先の確保

② かれい・ぶり等の加工原魚としての新たな輸出販路の開拓

③ 「北海道」ブランドが定着している東南アジアへの活・鮮魚介類や高次加工品等の輸出強化への対応

〔3〕円滑な輸出促進のための国内環境整備に向けた行政への要請継続

① 放射能検査に係る検査体制の簡素化と迅速化

② 活・鮮魚介類の航空貨物の荷捌き、通関体制等の整備

〔4〕国・道の支援を含めた国別・品目別戦略による海外市場開拓、販売促進等の実施

関する漁業・環境影響に対する対策と情報提供

〔3〕森・川・海のつながりを活かした森林環境保全対策の推進

① 全道における植樹活動の実態に対応した活動の見直しと方向付に向けた組織的協議の実施

② 「お魚殖やす植樹運動」の新たな運動方針策定と植樹活動の意義を広く浸透させるための普及啓発の継続推進



道民の森での植樹活動

販売事業について

昨年の本道漁業生産量は100万トン台を維持したものの、依然として減少傾向に歯止めがかかっていません。水揚げ減少による稼働不足と原料価格の高騰は産地加工業者の経

① 高鮮度輸送試験及び高次加工品の輸出試験の実施



中国で行われたほたて販促の様子

1. 鮮魚流通対策事業

一般魚種の水揚げ減少、魚種の交代、突発的な水揚げ、来遊時期のずれ込み等、海洋環境が年々変化していく中、これに対応した加工、流通体制の構築が求められています。

このような状況下、本会では『ぎょれん鮮魚センター』を拠点とし、鮮魚流通対策事業の拡充に取り組み、系統鮮魚・加工原料供給ネットワークの強化を進め、一定の成果を上げてきました。

今年度も引き続き浜の要望に応えた生鮮・加工販売の充実を図るとともに、水揚げ変動

営を圧迫しており、業者数も減少の一途を辿っています。一部地域においては産地市場の買受人機能が弱体化するなど、従来の産地流通体制による荷捌きにも限界が見え始めています。

また水産物の消費環境においては、人口の減少に加え、魚離れ現象が高齢者層にも及ぶなど国内の消費が引き続き低迷する中、海外の水産物需要が増加を続ける「二極化」の構図に拍車がかかっていますが、世界経済の動向に不透明感があり、輸出変動要因の見極めが一層難しくなっています。

よって、重要なマーケットとなった海外市場における販路確保と本道ブランドの更なる基盤づくりを着実に進めるとともに、基本である国内マーケットの再構築を図っていきます。

については、本年度においても、道産水産物の流通安定化のために、各種流通対策・消費宣伝事業との連動により産地集荷体制及び販売ネットワークづくりの強化を図るとともに、国内外に向けた加工・流通対策を拡充強化していくものとします。

〔産地対策〕

〔1〕秋鮭・ほたて等の基幹魚種対策の継続と鮮魚加工流通ネットワーク事業の拡充

〔2〕本会直営工場・漁協工場・提携工場等の安定的な稼働体制確保に向けた取り組みと品質管理体制の強化

に対応した新規製品の開発及び新規販路開拓を含めた製品販売力を強化し、魚価と流通の安定化に取り組んでいきます。

〔1〕鮮魚事業形態別対策

① 生鮮事業

ア・産地集荷機能の有効活用と消費地との連携による日配鮮魚の取扱強化

イ・集中水揚げ時や価格下落時の的確な対応

ウ・海外向け高鮮度流通の実施検討

② 加工事業

ア・活メ鮮魚の加工やワンフローズン製品等付加価値の高い製品づくり

イ・未利用魚種の有効活用

③ 冷凍事業

ア・国内及び国外市場への新規販路開拓
イ・消費者ニーズに基づいた新規商品開発

〔2〕魚種別対策の継続強化

① 全道対策魚種（かれい・ぶり等）と地域の基幹魚種（ひらめ・えび等）の水揚げ状況に即応した対策の推進

〔3〕漁協系統鮮魚取扱体制の強化

① 産地市場連絡会議での情報共有等に基づく取り組み強化

平成27年度 全道漁協トップセミナーが開催されました



【講演内容 抜粋】講演は、各種人口統計資料をもとにクイズ形式で進められました。
左の①～⑨に当てはまる数字を、皆さんも一緒に
お考えください。皆さんが考える人口のイメ
ジは、現実と合っていますか？

「札幌市以外の北海道」の答え

15～64歳人口
①203万人 ②△20.1万人 ③△9%
65歳以上の人口
④105万人 ⑤+9.3万人 ⑥+10%
その中の75歳以上の人口
⑦53万人 ⑧+5.6万人 ⑨+12%

このままの推移では、50年少々で
現役世代がゼロ、120年弱で人口がゼロに。

「札幌市」の答え

15～64歳人口
①124万人 ②△4.3万人 ③△3%
65歳以上の人口
④46万人 ⑤+8.0万人 ⑥+21%
その中の75歳以上の人口
⑦21万人 ⑧+3.6万人 ⑨+21%

このままの推移では、
140年で現役世代がゼロに。

札幌市以外の北海道で最近起きていること

(2010年3月末→2015年1月1日の日本人の数の変化、住民票ベース)

総人口:2010年3月31日→2015年1月1日△14.7万人

0～14歳人口の増減:	↓絶対数	↓増減
10年度末 44万人→15年始	40万人	△4.1万人 △9%
15～64歳人口の増減:	↓絶対数	↓増減
10年度末223万人→15年始	①万人 ②万人	③%
65歳以上の人口:	↓絶対数	↓増減
10年度末 96万人→15年始	④万人 ⑤万人	⑥%
↑その中の75歳以上の人口:	↓絶対数	↓増減
10年度末 47万人→15年始	⑦万人 ⑧万人	⑨%

札幌市で最近起きていること

(2010年3月末→2015年1月1日の日本人の数の変化、住民票ベース)

総人口:2010年3月31日→2015年1月1日+3.5万人

0～14歳人口の増減:	↓絶対数	↓増減
10年度末 23万人→15年始	22万人	△0.3万人 △1%
15～64歳人口の増減:	↓絶対数	↓増減
10年度末128万人→15年始	①万人 ②万人	③%
65歳以上の人口:	↓絶対数	↓増減
10年度末 38万人→15年始	④万人 ⑤万人	⑥%
↑その中の75歳以上の人口:	↓絶対数	↓増減
10年度末 18万人→15年始	⑦万人 ⑧万人	⑨%



多くの人口統計データをもとに、参加者にクイズ形式で問いかけながら、講演は進められました

上のクイズの答えは、皆さんのイメージとどれくらい一致していたでしょうか？「札幌は人口が集中しているから、現役世代が増えているだろう」と考えた方も多いのではないのでしょうか？
実は、「札幌市以外の地域」も「札幌市」のどちらにも現役世代は減少し、高齢者が増え続けています。人口が集中する東京も同様で、現役世代の人口は横ばいのまま、65歳以上は12%増えています。このままのペースで人口減少が進むと、「札幌市以外の北海道」では50年少々で人口がゼロになつてしまふ計算となります。現実には想像以上に危機的な状況だということです。それをイメージではなく、きちんと数字でとらえることが大事なのです。

現実をイメージだけでとらえていませんか？

「マネー資本主義」に代わる
「里山資本主義」で地域が真の活性化

これらの人口統計データから分かることは、経済的な利便性がかりを求める従来のやり方は人口は増えないということです。一方、経済的な利便性が悪いとされる地域でも、若者が地域に残り、子どもが生まれ、人口を維持し続けている町（村）もあります。それらの町では、お金にならない価値も重視しながら地域の中で経済やエネルギーを循環させる方法を取っています。私はそれを「里山資本主義」と呼び、従来の「マネー資本主義」とは対極をなす真の地域活性化の方法（左図）だと考えています。自分が住む地域で出来ることを真剣に考えることで人口減少の状況は変えられます。皆さんの地域でも、ぜひ取り組んでみてください。

「里山資本主義」的地域活性化を

- ①安さでは勝負せず高品質の商品で外貨獲得:
当地独自の生活文化に支えられた、ハイセンス・少量・高単価の「地域ブランド商品」「生活文化観光」で外から稼ぐ(＝「いま」「ここ」にしかないものを売る)。
- ②お金と遊休資産をもっと地域内でぐるぐる回す:
地域内産の食材、建材、人材の質を上げて地元で使い倒し、未就労女性や障害者を雇用し、時短で「時給」を高め、兼業を奨励し、空き不動産は安く賃貸する。
- ③省エネ・新エネ投資でエネルギー代を大幅削減:
建物の改築・断熱改修を進めて大幅な省エネを実現。建材にはなるべく地元産材を使い、木屑を燃料利用。小水力・風力・地中熱・廃油・廃熱を余さず使う。

講演

『里山資本主義』

日本経済は「安心原理」で動く



藻谷 浩介さん

藻谷さんは、多くの市町村が合併した「平成の大合併」以前の国内3,200市町村を、全て訪問した経験を持ちます。
そこで見聞きした経験と、一般に公開されている人口統計データを重ねあわせ、今回の講演では、主に「東京」「札幌」「札幌以外の道内市町村」を対象としたデータを示し、高齢化社会に突入した日本の市町村が抱える問題を、人口の切り口から分かりやすく解説しました。

藻谷浩介さん紹介

●現職

(株)日本総合研究所 首席研究員
(株)日本政策投資銀行 地域部 特任顧問

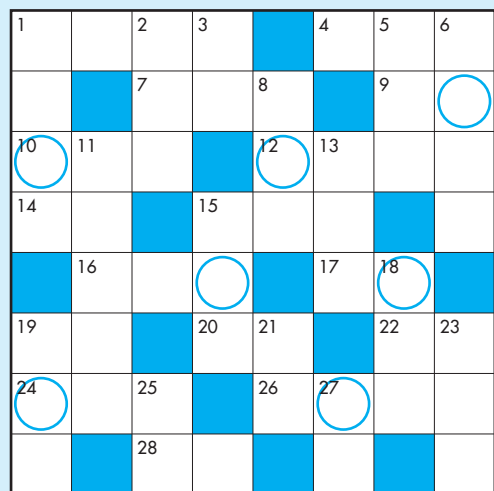
1964年、山口県周南市(旧徳山市)生まれ、51歳。東京大学法学部私法コースを卒業後、米国NY市コロンビア大学経営大学院を卒業(経営学修士MBA)。1988年、日本開発銀行(現(株)日本政策投資銀行)に入行し、2011年末まで正職員として勤務。平成合併前の3,200市町村の全てと海外72か国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。2000年頃より、地域振興や人口成熟問題に関し積極的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。

●主な著書

「里山資本主義」(2013年)
「しなやかな日本列島のつくりかた」
(2014年)

クロスワードパズル

次のクロスワードを完成させ、○印に当たる言葉をうまく並べてください。4月は新しい出会いの季節。新生活が始まる方も多いのではないのでしょうか。北海道はまだ寒いですが、新一年生が元気いっぱい登校する姿を見ると、春の訪れを感じますね。



○印に当たる言葉を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、17ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

3月号の解答と当選者									
ヒ	ナ	ホ	ツ	コ	オ	ン	シ	キ	ー
モ	モ	ト	サ	リ	セ	ハ	ン	シ	ル
ツ	イ	チ	マ	ス	シ	マ	カ	ン	キ
シ	マ	カ	ン	キ	シ	マ	カ	ン	キ

オヒナサマ

(利尻町)平野 亮子さん
(釧路市)小野 聖子さん
(島牧村)小倉 陽子さん
(奥尻町)川瀬 留美さん
(利尻富士町)一橋 孝二さん

間違いさがし

間違いは6つです。

※右と左の絵には、6か所の異なる点があります。
さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは17ページにあります。

表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。

今月の家族物語



【山下さんご一家】 山下博史さん(30歳)、沙代子さん(30歳)、航史郎くん(2歳)

※博史さんの母・真紀子さんと共に。

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。今回は、苫小牧漁協の山下さんご一家です。

父に憧れ漁師に

春のまがれい刺網漁、夏の毛がに籠漁、秋の秋鮭定置網漁、冬の助宗漁にほっき漁と年間を通して忙しい日々の続く博史さん。漁業をする父 博徳さんの背中に憧れ、「小学校の卒業アルバムにも将来の夢は漁師と書いていたんですよ」と笑顔で教えてくれました。その頃から仕事を手伝い、19歳から漁師となり11年。博徳さんの亡くなった今は自分の船を持ち、2人の乗組員と共に海に出ています。

博史さんは2年前から苫小牧漁協青年部の部長を務めています。同時に共済推進副委員長や、部会の役員なども務めており、組合活動に大忙し。「今、うちの青年部員はやる気がある人が多いんです。色々な事業を始めたり、とても活発に活動できています」と話します。うにの種苗放流や博史さん自らも船を出して行方港内のヒトデ駆除のほか、2年目となった朝市では直接消費者へ地元の水産物を売り込むなど、積極的に活動を行っています。

漁師にも、アイスホッケーにも興味を持ってもらいたい

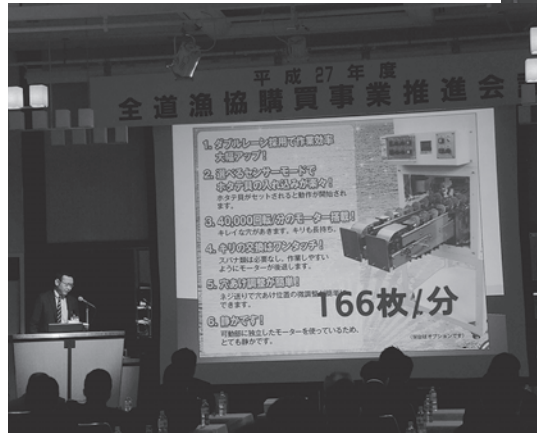
実家は利尻島で昆布漁をしているという沙代子さん。博史さんも獲っている、苫小牧の名産 ほっきは「貝の口が固くて、全然刃が入らないんです」と話し、剥き方を練習したと教えてくれました。

2歳になったばかりの航史郎くんはトミカが大好き。沙代子さんは「甘いものが好きなのがパパと似ています」と笑います。

ほっきと並んでアイスホッケーが有名な苫小牧。博史さんも例にもれず経験者です。「最近あまり行っていないですね」と話しますが、先日航史郎君のためアイスホッケーのおもちゃを購入しました。「将来は漁師になってほしいけど、アイスホッケーにも興味を持ってもらえればいいな」とはにかみます。夏には家族が増える予定の山下家。「落ち着いたら利尻に行きたいですね。俺はしばらく行けてないんです」と話してくれました。



全道漁協購買事業推進会議が開催

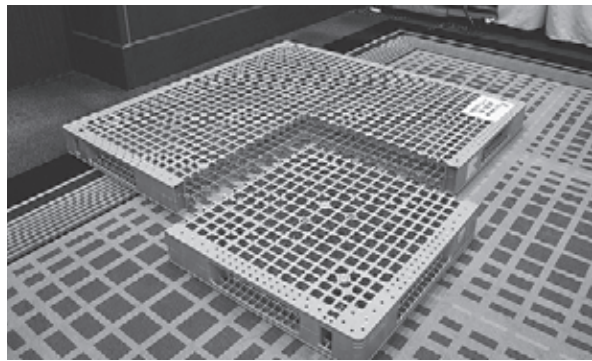


「高性能ホタテ穴あけ機」について説明する澤口担当職員



会場後方に展示された系統ブランド資材の数々

引き続きぎょれん折戸次長から、漁協が担う軽油免税券申請事務を軽減することを目的にぎょれんが開発したWEB版ソフトが紹介され、利用者の募集がありました。会議の終わりは新製品の紹介。高性能機能を誇るほたて穴あけ機GM160、国内大手メーカーの協力を得て、昨年から販売を開始した日本初の大型プラスチックパレット、系統国産塗料などが詳しく紹介されました。休憩時間には会場後方で展示されている商品を前に、商談が進むなど担当者の関心を集めていました。



内部構造もわかるように展示された大型プラスチックパレット



展示商品を見ながら商談中の関係者



3月11日(金)、ロイトン札幌にて、全道の漁協購買担当者としょれん及び購買関連会社が参加して、「平成27年度全道漁協購買事業推進会議」が開催されました。

会議ではぎょれん購買部による「ぎょれん購買事業 平成28年度基本方針及び推進内容」の説明に加え、系統ブランド資材海外メーカー視察報告、WEBを利用した燃油免税処理説明や新規取扱い機器などの紹介が行われました。

はじめに、最新の石油情勢について情報提供された後、漁協系統仕入れ力の強化、燃油施設管理体制の強化、系統ブランド資材事業推進と品目別対策について説明があり、漁協担当者皆様へ一層の協力要請がありました。続いて南かやべ漁協成田事業課長による、平成27年度系統ブランド資材海外メーカー視察報告があり、ベトナムやタイの資材製造工場での作業状況や製品管理、現地工場担当者との意見交換会などについて



最新の石油情勢を説明する、ぎょれん阿部購買部長



報告。「来年度は海外研修3か年計画の最後の年となるので、まだの方は是非参加を」と呼びかけました。



海外メーカー視察の報告をする、南かやべ漁協、成田事業課長

研修会

初の試みとなった研修会では、国内有数の定置網専門メーカーであるホクモウ(株)大村チーフによる「定置網」についての講演があり、定置網の歴史、動画を駆使した設置作業、CGによる海中での魚群の移動、定置網の優れた特性など、専門メーカーならではの資料、映像を用いた講演に、参加者は熱心に聞き入っていました。



CG映像を用いて定置網の歴史を紹介する、ホクモウ(株)大村チーフ



タイのニットウセイモウグローバル社前にて記念撮影



タイの刺網工場に関係者と意見交換



ベトナムのほたて養殖籠工場を視察

ご参加ください!

漁協教育研修(前編)ー全道研修についてー

ぎょれんでは、漁協運営に必要な知識、時代の変化に対応した専門知識の習得を目的として、「全道漁協教育研修計画」を作成し、漁協役職員に対する各種研修を実施しています。
本誌では今月と来月の2回に渡り、平成28年度の研修内容をお伝えします。
今月お伝えする「全道研修」は漁協役職員の「スキルアップ(知識・技能の向上)」を目的としています。研修への積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

4月 全道漁協 新採用職員研修会(札幌) カッコ内は開催場所です。

新採用職員としての基礎的知識の習得と、団体生活によるチームワーク、協同組合精神の大切さを学びます。

【研修科目】

1. 漁協のあらまし(組織と関係法規)、2. 社会人としてのマナーと職場のルール、3. 市場見学と系統訪問 等

7月 全道漁協 職員(一般職員)研修会(札幌)

漁協勤務経験1年以上の一般職員を対象とし、漁協実務の中核となるべき職員としての資質の向上と実務知識の習得を図ります。

【研修科目】

1. 協同組合論、2. 漁協実務の中核となるべき職員に求められるもの(コンプライアンス含)、3. 漁業法、水協法のあらまし 等

7月 全道漁協 部課長研修会(札幌)

漁協の幹部職員としての資質の向上と管理者としての自覚を養成します。

【研修科目】

1. 管理者としての立場と役割(コンプライアンス含)、2. 経営管理、3. 経済社会情勢、4. 協同組合運動の推進 等

11月 全道漁協 専務参事会研修会(札幌) ※写真は一番上

現下の厳しい漁業情勢に対応するため、経営実務責任者としての識見の向上と経営管理実務の修得を図ります。

【研修科目】講演会、質疑等

2月 全道漁協 新任役員(理事・監事)研修会(札幌)

※今年度は新たな試みとして、7月にも2日間の短縮コースにて実施しますのでご参加ください。

漁協新任役員(就任1年目)を対象に3日間に渡り実施しています。理事には、現下の厳しい漁業情勢を把握し得る経営感覚と、執行者として職務遂行上必要な知識の修得を目的に、監事には、監事の職責、監査実施上必要な基礎的知識の修得を目的としています。

【研修科目】漁業情勢、協同組合論、水協法、漁協財務、コンプライアンス等

漁協役員を対象とした研修は、この他に、地域毎に行う「ブロック別研修」「地区専務参事会研修会」「地区監事研修会」や、「全道トップセミナー(本誌p8にて特集)」を毎年実施しています。

※写真は全て平成27年度に実施した際の様子です。



新採用職員研修会



職員(一般職員)研修会



部課長研修会
(昨年は、「管理者研修会」として実施)

宗谷管内のさけます増殖河川の状況を報告

河川と水環境の保全に関する意見交換会が開催されました

01

3月15日(火)、農業関係団体や道関係部を交えての河川と水環境の保全に関する意見交換会が開催されました。宗谷漁協より管内を流れる増幌川における秋鮭の回帰と河川環境についての現状報告があり、特に増幌川河口近くの漁場では、平成19年以降秋鮭の水揚げが殆ど無い状態で、回帰率も全道平均よりも大幅に下回っており、水質調査によるデータ解析ではアンモニアなどの項目が基準値を大幅に超過しているとの説明がありました。これらの要因について、家畜排せつ物の周辺酪農施設からの流出や、草地への散布などの深い関わりが指摘されています。

出席した農業関係団体より、酪農施設の戸別巡回調査の実施など改善に向けた取り組みの説明があったほか、稚内市を通じて農協、漁協とで協議を行なっていく動きにあるとのことであり、意見交換会を通じて、それぞれの関係が醸成していくことが望まれます。



河川状況の改善を目指して、積極的な意見の交換が行われました

全道各地で地区漁青連大会が開催されています

胆振・留萌の青年部で50周年記念大会が開催

02

2月から3月にかけて、漁協青年部員相互の研鑽に努める地区大会が各地で開催されています。

今回が50回記念大会となった胆振地区漁青連大会では3月12日(土) 洞爺湖温泉にて、STVラジオの工藤準基さんを講師に招き、講演が行われました。同時に各漁協青年部が日頃の活動について紹介し、互いの活動の参考としました。同じく50回記念大会が行われた留萌地区では、2月19日(金)に増毛町で、道内の各地区会長を招いて、留萌地区漁青連の前会長櫛引一也さんの講演が行われるなど、盛大に開催されました。

両地区漁青連とも50周年を迎え、今後の活動の充実に向けて気持ちを新たにすることができたようです。



50周年を記念して鏡開きが行われた胆振地区漁青連(上)と、集合写真を撮影した留萌地区漁青連(下)

入賞作品は2017年ぎょれんカレンダーに採用!

「海の四季 フォトコンテスト」を開催します

ぎょれんでは、昨年に続き「北海道の海・浜・港の四季を感じる風景写真」を広く募集する「海の四季フォトコンテスト」を開催いたします。入賞作品(6点)は「2017年ぎょれんカレンダー」に採用するほか、その応募者には海の幸セットをプレゼントします。

応募受付は9月5日まで。応募方法等の詳細は、本誌に折り込んでいる応募チラシをご覧ください。たくさんのご応募をお待ちしています!

※カレンダーとして印刷するため、大きめの画像データサイズを推奨しています。詳しい推奨サイズ等はチラシをご覧ください。



身近な写真愛好家にもお声掛けください。たくさんのご応募をお待ちしています!

編集部からのお知らせ

皆様からの便り、写真、イラストをお待ちしています！

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿(便り、写真、イラスト等)や、広報なみまるくん4月号への感想・ご意見など(※150字程度まで)
- ②11ページのクロスワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉4月18日までにお送りください。

(郵便) 〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん 営業企画部 広報担当
(FAX) 011(271)0843
(電子メール) info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、便り、写真、イラスト等の掲載(氏名、年齢、市町村名)にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

11ページの間違ひさがしの答え



札幌では雪も少なくなり、本州からは桜の便りが届き始めました。ずいぶん暖かくなってきたと油断していたら、突然寒い日が続く、喉に違和感が…。三寒四温とは言いますが、本格的な春まではまだしばらくかかりそうです。皆様も体調にはお気を付け下さい。

(天幡)

今年のは雪が少なくて良かったと思っ
ていましたが、最近大雪で平年並みの
ようです。
(小樽市 宮古登美子さん)

あたたくなくなってきました。春の漁
がまちどおしいですネ
(釧路市 匿名希望さん 56歳)

今年の鯨漁も終盤です。群来も数回
有りました。海面はエメラルドグリー
ン色になりました。
(小樽市 宮古知行さん)

みなさんのお便りでつくる
ページです。

なみまる おたより箱



毎月頑張っ
て解いてます。今月は女
の子の月。おひな様。はやく5月の節
句、こいのぼりにならないかな。日本
の伝統はすばらしい。
(厚岸町 佐藤慶二さん 12歳)

やっと春がきたと実感する今日、す
いせんの芽が出た。
(奥尻町 N・Kさん 40歳)

桃の節句も終わり、いよいよ春本番
ですが今年の天候はいつもと違っ
ちいます。磯では「のり」も「ぶのり」も
不漁です。だげとばあばは、頑張っ
てふのりを取ります。
(島牧村 小倉陽子さん 67歳)

昨年は低気圧が何度も来て礼文島で
も被害が多くあり、もううんざりで
す。浜に活気が出てくる春が早く来て
ほしいですね。
(礼文町 菅原末子さん 66歳)

岡山からの便りも今月が最後です。
なみまるくんのクロスワードパズル
の楽しみも2年くらいだと思いま
す。図書カードを頂くことが出来ま
した。主人も4月から新しい職場で働
く事になっています。なみまるくん
さようなら
(岡山県 津内洋史・千菊さん)

春漁業の豊漁をご祈念申し上げます。
(島牧村 泉谷泰三さん 88歳)

今年の雪は少ないようですが、沖は
時化てばかりで、毎日陸の仕事ば
かりです。早く春になり、風の日が多
くなるように願っています。
(礼尻富士町 一橋孝二さん 56歳)

今年の冬は雪の量が少なかったの
で、いつもよりも早い春の訪れが嬉しい
ですね。
(札幌市 橋本光江さん)

編集後記

職場の友人の勧めで、先日「上方
落語」を聞きに出かけました。席料
は二千円。テレビで見ると有名な有
名人ではなく、さして期待もしてい
ませんでした。昔は芸を見てからお客
がお金を払うシステムだったので、ど
んなことがあってもお客を満足させ
なければいけなかったとか。その思い
が伝わってくる熱演でした。「お金を
払ってでも読みたい」と思われる広
報誌づくりを目標にやってきました
が、まだまだ道半ばです。
(阿部)

大漁 祈願！

news 浜の ほつとニュース

小樽

冬漁を彩った真だら、助宗だら、にしん漁も徐々に各地で切り上げを迎えています。いずれの魚種も昨年同時期より漁獲量が伸長し、一年の始まりを代表する各魚種が好調のまま終わる形となりました。入れ替わるようにかれい刺網、ほたて半成貝の出荷が各地で開始され、雪解けと共に春の訪れが感じられるようになりました。4月からは石狩湾沿岸でほたて稚貝の出荷が本格化し、今年も夜明け前から浜に活気が溢れる季節がやってきます。

室蘭

今シーズンの管内助宗だら刺網漁が2月27日を以て終漁しました。累計水揚げ数量は約18,000t、昨年対比は83%でしたが、浜値は終盤までk@100~80処と高値で推移しました。管内養殖ほたても水揚げ終盤を迎えており、現在の日産水揚げ数量は約250tとなっています。また、3月1日からはえび籠漁が始まり、混獲で水揚げされる柳たこはk@400処と昨年同期よりk@20ほど高値で推移しています。生産者の方々の安全操業・豊漁を祈願しています。

根室

例年2月末から3月にかけて切り上げ始める羅臼漁協の刺網船ですが、今年は3月に入っても助宗だらが続き、中旬時点で昨年を5割以上超える水揚げとなっており、浜値はk@130~100処で推移しています。また月の後半からはにしんの漁がまとまり始め、管内合計で20tを超える水揚げがある日もあります。寒さも幾分和らいできましたが、今後とも関係者の皆様の健康と安全な操業を願っています。

留萌

当管内は3月25日よりほたて稚貝の出荷が始まり、かれい漁も好調な滑り出しを見せるなど、春漁が本格化しています。また、えび籠漁も休漁から明けて、当管内を代表するえび・たこ・ほたて・かれいの水揚げが順調に行われ、各浜も賑わう時期になってきました。春の訪れと共に賑わう春漁が大漁であることを祈念しています。

函館

松前地区では、やりいか漁が最盛期を迎えています。今年はここ数年に比べ、水揚げが増加しています。(3月22日付 今年:約350t、去年:約65t) やりいかの主な漁法は定置網漁と電光敷き網漁があります。定置網漁とは魚の習性を利用して、魚が集まる場所に網を設置し、入網した魚を捕る漁法です。一方の電光式網漁とは、棒受け漁の一種であり、光に集まる習性を利用して、集まったいかを網ですくい揚げる漁法です。今が旬のやりいかは甘みがあり身が薄く、柔らかいのが特徴なので、刺身や煮つけなどにしてみたいかがでしょうか。

釧路

3月上旬、今年度最後となる成昆布値決会が行われ、前回と同値で妥結しました。今年度の昆布生産量は、天候不順等の影響を受け昨年を下回る見込みです。魚種別の水揚げ状況では、厚岸・散布におけるにしん漁が引き続き好調で、1月からの水揚げ累計は3月中旬に1,000tを超えました。一方、4月以降、白糠から浜中にかけて、灯台つづき漁が順次解禁となります。さらに、以西船による春鮭鱒漁も控えており、霧がかかる日が増えてきた釧路の春は目前です。

稚内

オホーツク海地区では3月15日より、毛がに籠漁・ほたて漁が始まりました。毛がに漁は、籠入・水揚げとも順調に進み、早いスタートを切ることができました。数日間の動向をみると、前年に比べ高値で推移しています。また日本海地区では、なまこ漁が始まり、今後の価格推移に注目が集まっています。春を迎え浜は活気づいていますが、安全操業で豊漁となることを願っています。

梶山

今年は昨年より積雪量が多い冬でしたが、ここにきて暖かい日が多くなり、春を感じさせる日々が続いています。ひやま地区の春漁といえさくらますです。主に一本釣りや定置で水揚げされ、3月~5月まで漁が行われます。さくらますの身は雪解け水により身が引き締まっており、脂ののりが良いのが特徴です。塩焼きはもちろん、ムニエルなどにもピッタリです。

日高

3月に入り、管内ではつづき籠漁、えび籠漁が始まりました。時化等が続き、思うような操業はできていませんが、浜値については、前年並みを推移しています。貝類の中では、昨年に続き、今年も毛つづきが高値を推移しており、春漁に向けて今後の水揚げに期待したいところです。日が長くなり、春がすぐそこまで来ていますが、安全操業と大漁を願っています。

北見

4月に入りオホーツクも徐々に春めいてきており、本格的な海明けを迎えています。3月中旬からは紋別・網走の底曳網漁、ほたての漁場造成や毛がに漁もスタートしており、浜では賑わいをみせています。今後は刺網漁等も始まり春漁が本格化していきますが、安全操業と大漁を心より祈願しています。

まさかより もしもで防ぐ 海難事故

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

カレーの香りが食欲をそそる、秋鮭の竜田揚げ

鮭のカレー風味 竜田揚げ

浜のおかあさん

レシピ



今回は「鮭のカレー風味 竜田揚げ」をご紹介します。大人から子どもまで、みんな大好きなカレーで、一味違った竜田揚げはいかがでしょう。お魚が苦手なお子さんにも食べやすい一皿です。

材料 (4人分)

- | | | |
|------------|---|--------------|
| ・秋鮭…400g | ④ | ・生姜…3g |
| ・ブロッコリー…1房 | | ・にんにく…3g |
| ・かぼちゃ…1/4個 | ⑤ | ・酒…大さじ2 |
| ・油…大さじ2 | | ・しょうゆ…大さじ2 |
| ・みりん…小さじ2 | ⑥ | ・カレー粉…小さじ1/2 |
| ・ミニトマト…4個 | | ・片栗粉…大さじ3 |
| | | ・カレー粉…小さじ1 |

作り方

- ① Aの生姜、にんにくをすりおろし、Aをボウルに入れて混ぜ合わせておく。
- ② 秋鮭の骨を除き、一口大に切り、①に入れて下味をつける。ブロッコリーは小房に分けて塩ゆでし、かぼちゃは1cmの厚さに切り、皿に並べてラップをかけ、電子レンジで6分加熱（500Wの場合）する。
- ③ Bをビニール袋の中に入れ、②の秋鮭を入れて粉をまぶす。
- ④ フライパンに油を入れて火をつけ、③を並べて両面に焼き色がつくまで揚げ焼きし、①とみりんをまわしかけてから絡める。
- ⑤ ②のかぼちゃの上に④を盛り付け、ブロッコリーとミニトマトを飾れば出来上がり。



沙留漁協
横田やす子さん